

**第63期第2四半期（累計期間）
決算説明会
(2015/4/1～2015/9/30)**



2016年3月期第2四半期累計期間実績 および2016年3月期通期見通しについて

代表取締役社長 鷹野 準

(ご注意)

※本資料中の四半期数値は特に断りがない限り、第2四半期累計期間を表示しております。

**2016年3月期第2四半期連結累計
期間決算実績の内容について**

●当社および連結子会社の概要について

会社名	沿革等	事業の内容
※当社 タカノ株式会社	昭和28年7月 ばね製造会社として設立 平成9年東証上場	・オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、 画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器 の製造販売
※連結子会社 (株)ニッコー [機械・工具]	昭和43年3月 グループ内の工具機械等の仕入を する商社機能として設立	・工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
※連結子会社 タカノ機械(株) [検査計測機器]	昭和54年9月 当社治工具・専用機の設計製造部 門を分離独立させ設立。	・省力化機械の製造販売 ・検査計測装置のメカ機械等の製作
※連結子会社 台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	平成17年2月 当社100%子会社として設立、同年 4月より営業を開始	・台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、ア フターサービス、販売活動
※連結子会社 上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	平成22年2月 当社100%子会社として設立	・オフィス家具他、各種製品の仕入販売 (当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国から の部材仕入れ活動等を行う目的で設立)
※連結子会社 香港鷹野國際有限公司 [産業機器]	平成23年8月 当社100%子会社として設立(登記) 平成24年1月(営業本格開始)	・産業機器(電磁アクチュエータ)製品、検査計測機器製品お よびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)

●2016年3月第2四半期決算実績 (対前期比)

	2016年3月2Q (百万円)	2015年3月2Q (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	9,464	8,550	110.7%
営業利益	146	9	1,533.2%
経常利益	186	100	185.0%
四半期純利益	103	53	192.8%

●2016年3月第2四半期決算実績 (対計画比)

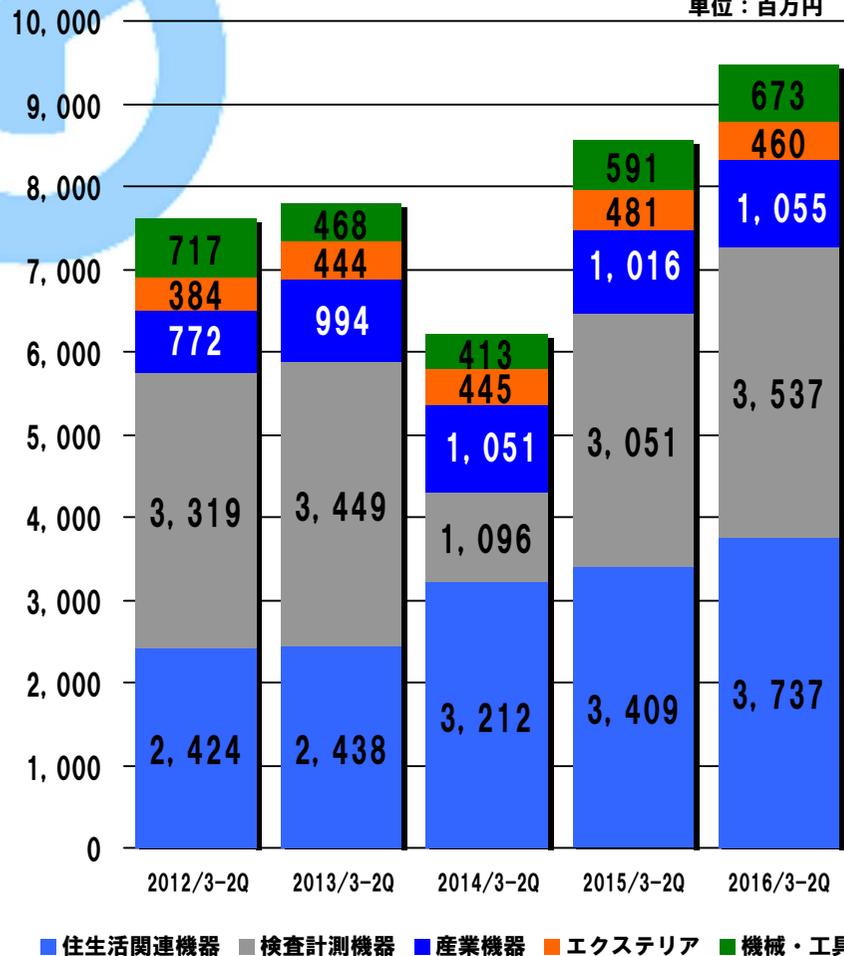
	2016年3月2Q (百万円)	2016年3月2Q 計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	9,464	9,500	99.6%
営業利益	146	80	183.4%
経常利益	186	150	124.5%
四半期純利益	103	110	94.0%

※計画値は、2015年5月8日の決算発表時に開示しました業績予想値を表示しております。

●連結セグメント別売上高の推移

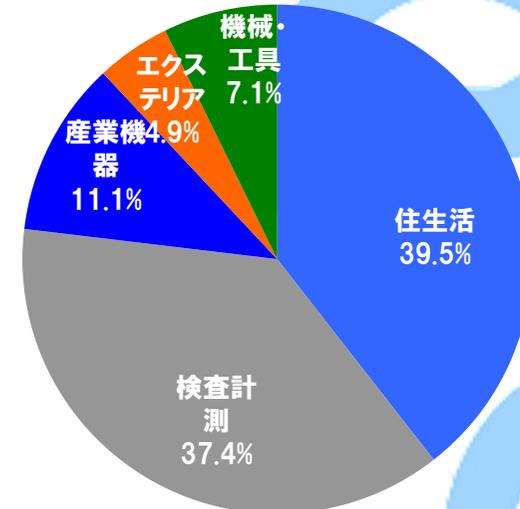
セグメント別売上高推移

単位：百万円



	2016/3-2Q (百万円)	2015/3-2Q (百万円)	前年 同期比
住生活関連	3,737	3,409	109.6%
検査計測	3,537	3,051	115.9%
産業機器	1,055	1,016	103.7%
エクステリア	460	481	95.7%
機械・工具	673	591	113.9%
合計	9,464	8,550	110.7%

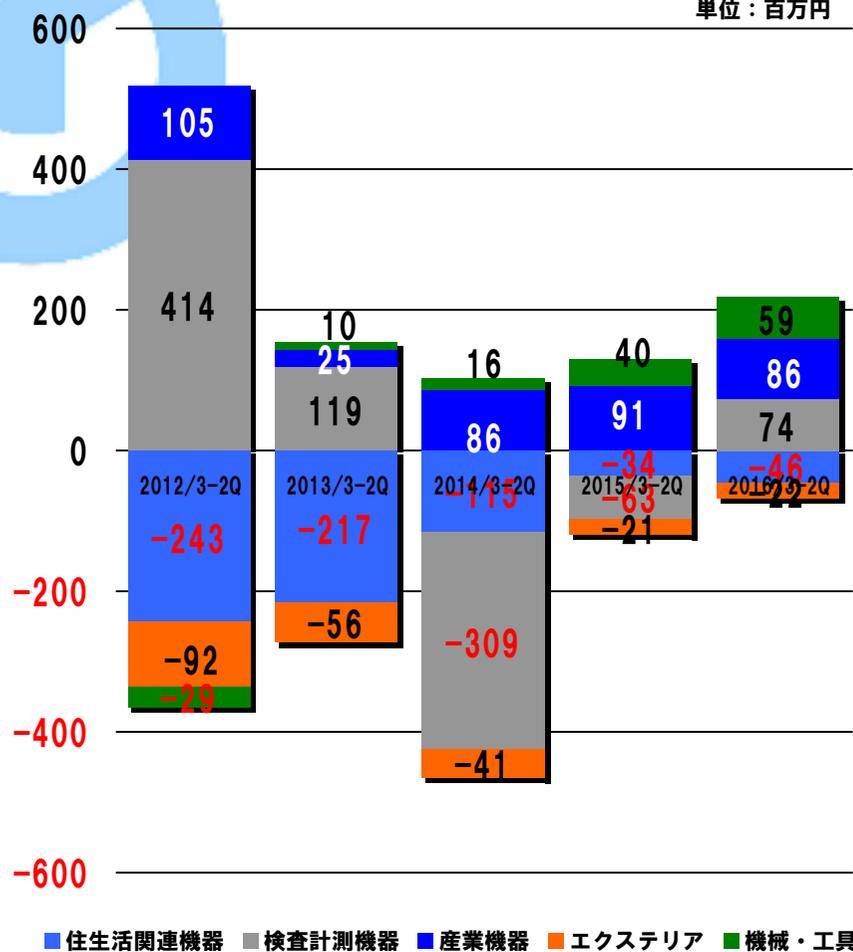
2016/3 第2四半期（累計）売上高構成比



●連結セグメント別利益の推移

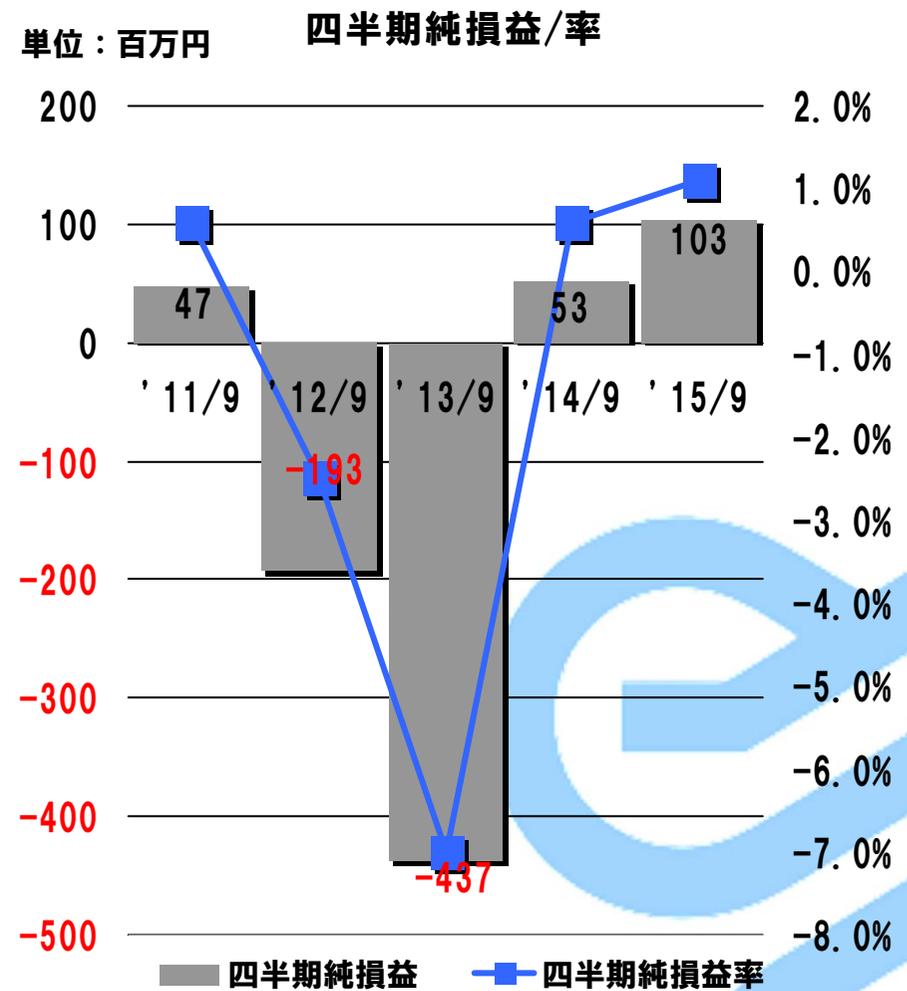
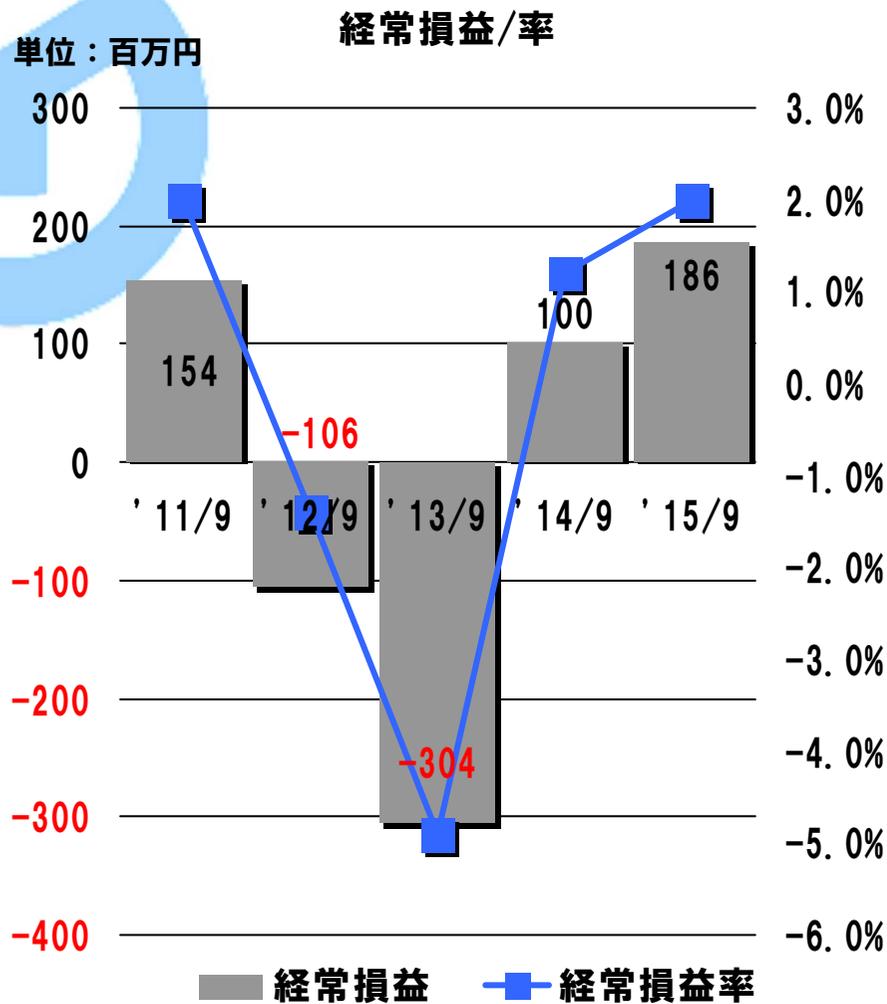
セグメント別利益推移

単位：百万円



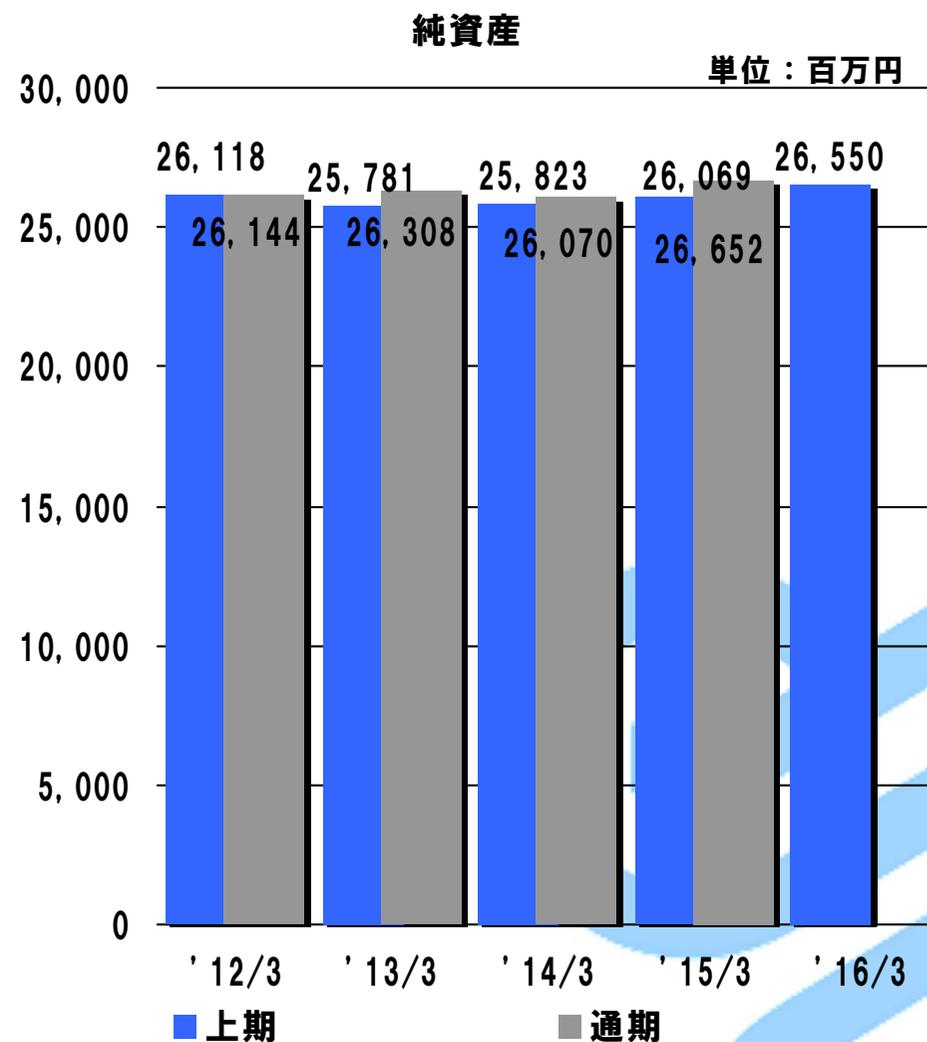
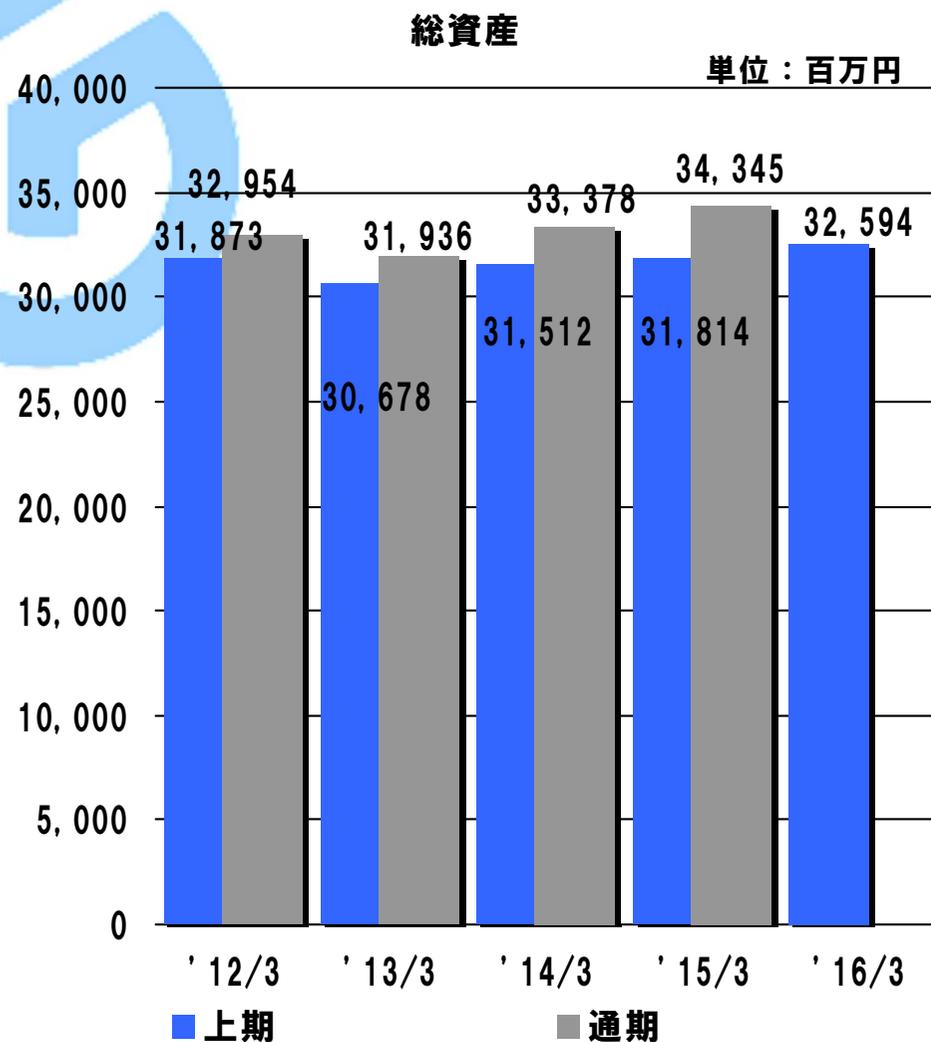
	2016/3-2Q (百万円)	2015/3-2Q (百万円)	前年 同期比
住生活関連	△46	△34	—
検査計測	74	△63	—
産業機器	86	91	94.3%
エクステリア	△22	△21	—
機械・工具	59	40	149.5%
取引消去	△5	△2	—
合計(営業損益)	146	9	1,533.2%

● 経常損益・四半期純損益の推移 (第2四半期累計)



○ 2014年3月期第2四半期の1株当たり
四半期純利益 6円80銭

●総資産・純資産推移(第2四半期末)



○2015年9月末の自己資本比率 81.5%

○1株当たり純資産 1,747.16円

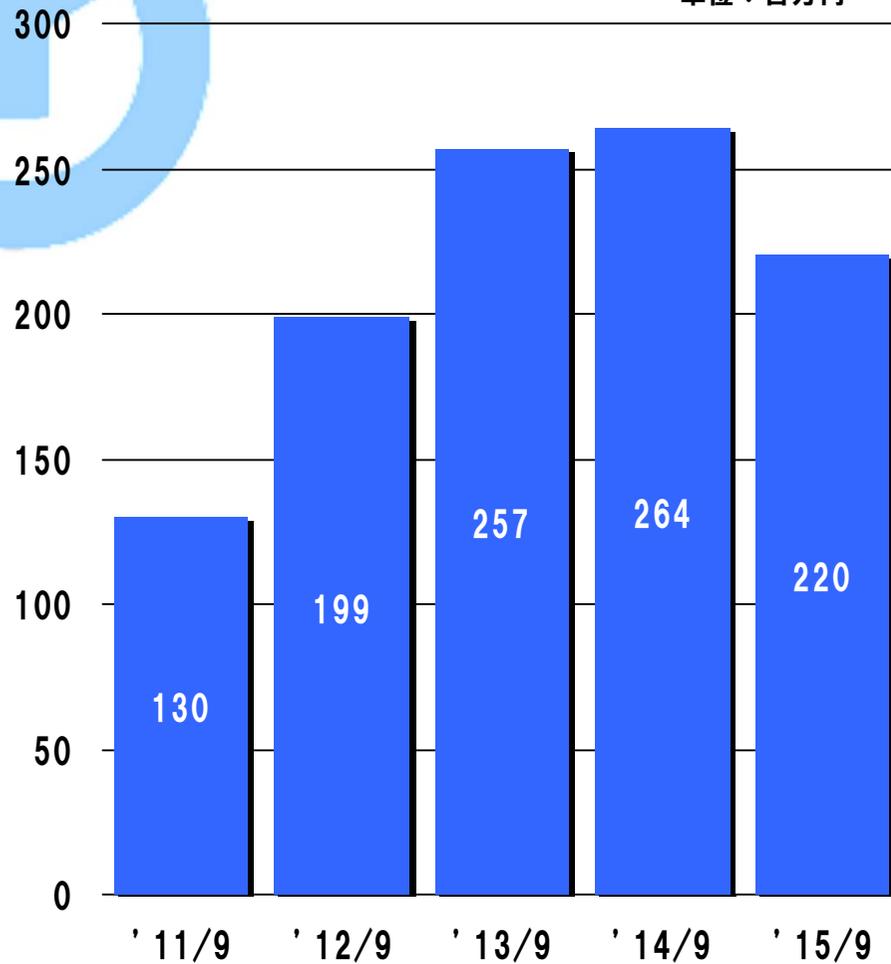
●2016年3月第2四半期キャッシュフロー計算書

	2016年3月2Q (百万円)	2015年3月2Q (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	△548	945	△1,494	
投資活動によるCF	△1,056	△102	△953	
財務活動によるCF	△204	△199	△5	
現金等換算差額	3	21	△17	
現金等の増減額	△1,806	664	△2,471	
現金等期首残高	9,468	8,972	495	
現金等期末残高	7,662	9,637	△1,975	

●研究開発の状況

研究開発費推移

単位：百万円



●当第2四半期の主な研究開発の内容

■住生活関連機器

- ・手術室関連医療補助機器開発

■検査計測機器

- ・高速・高精細CMOSイメージセンサー開発
- ・燃料電池等エネルギー部材向け検査技術開発

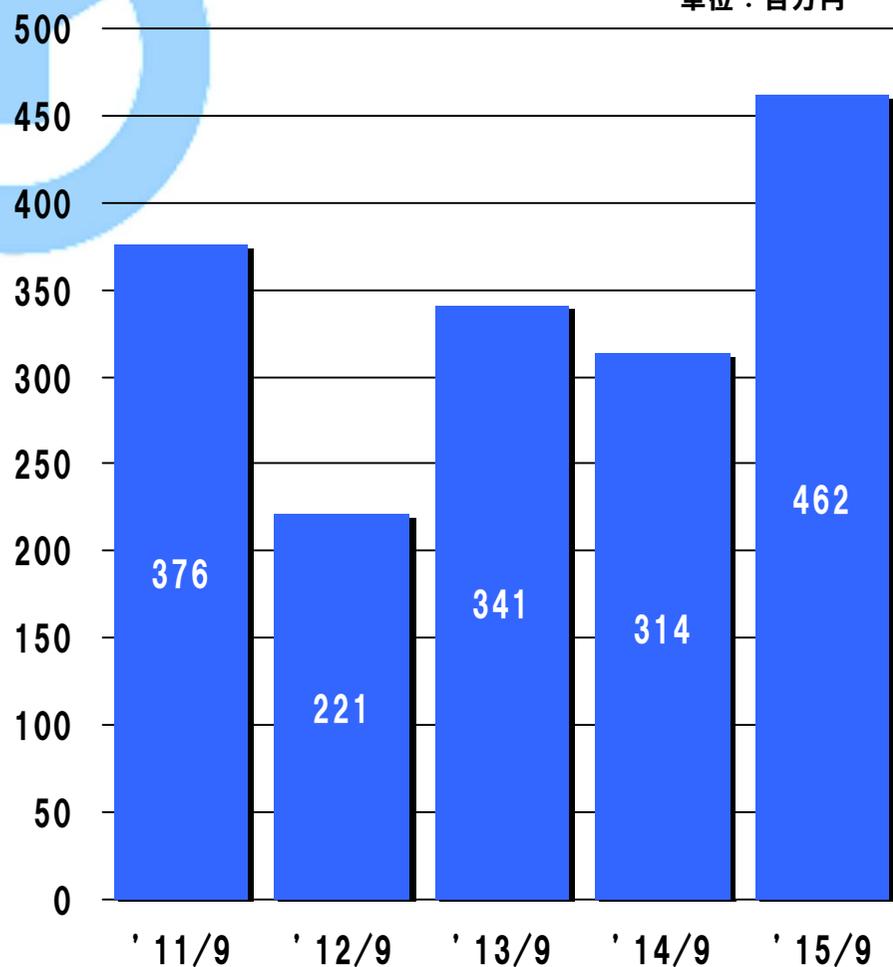
■新事業開発関係（基礎研究）

- ・太陽電池関連機器開発
- ・人工知能（AI）関連研究

●設備投資の状況

設備投資額推移

単位：百万円



●当第2四半期の主な設備投資の内容

■住生活関連機器

- ・オフィス椅子新製品金型
- ・オフィス椅子製造ライン合理化設備
- ・手術室関連医療補助機器金型

■検査計測機器

- ・新型検査装置デモ機製作

■産業機器

- ・クリーンルーム設備工事

■その他

- ・業務系ソフトウェア更新
- ・Web-CMSソフトウェア購入
- ・・・他

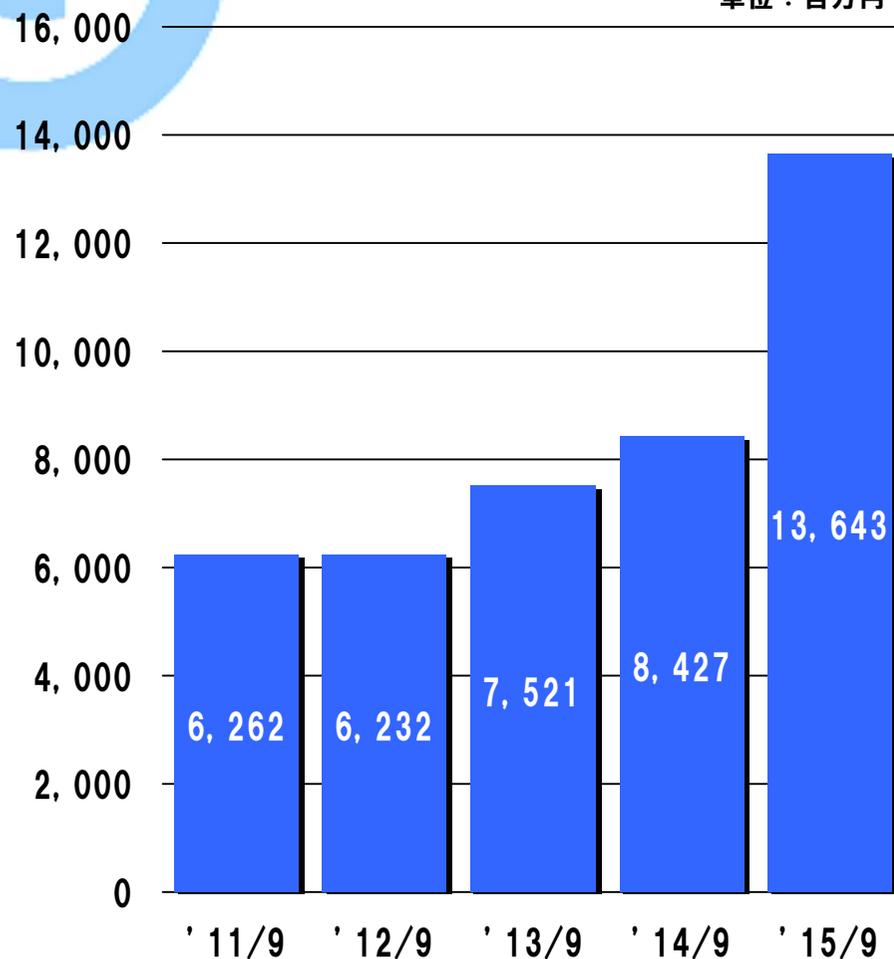
●受注・受注残高の状況

■検査計測機器の受注残高の状況

2015年9月末 9,234百万円

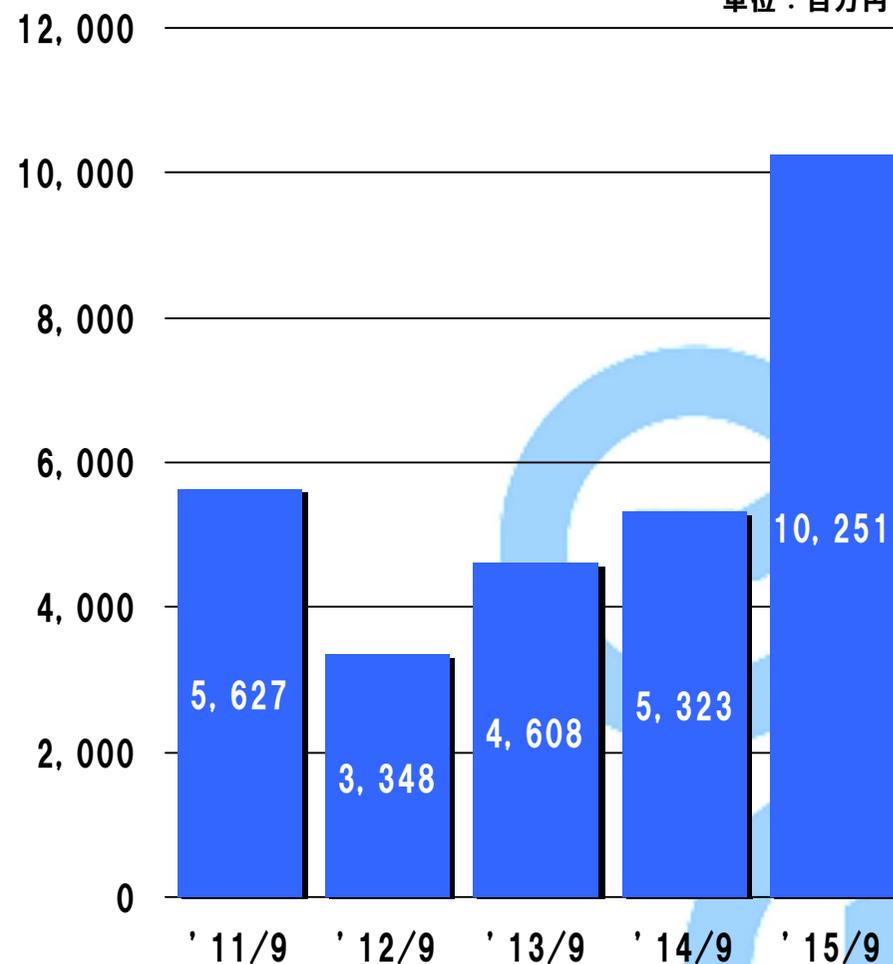
第2四半期(累計)受注高推移

単位：百万円



第2四半期末受注残高推移

単位：百万円

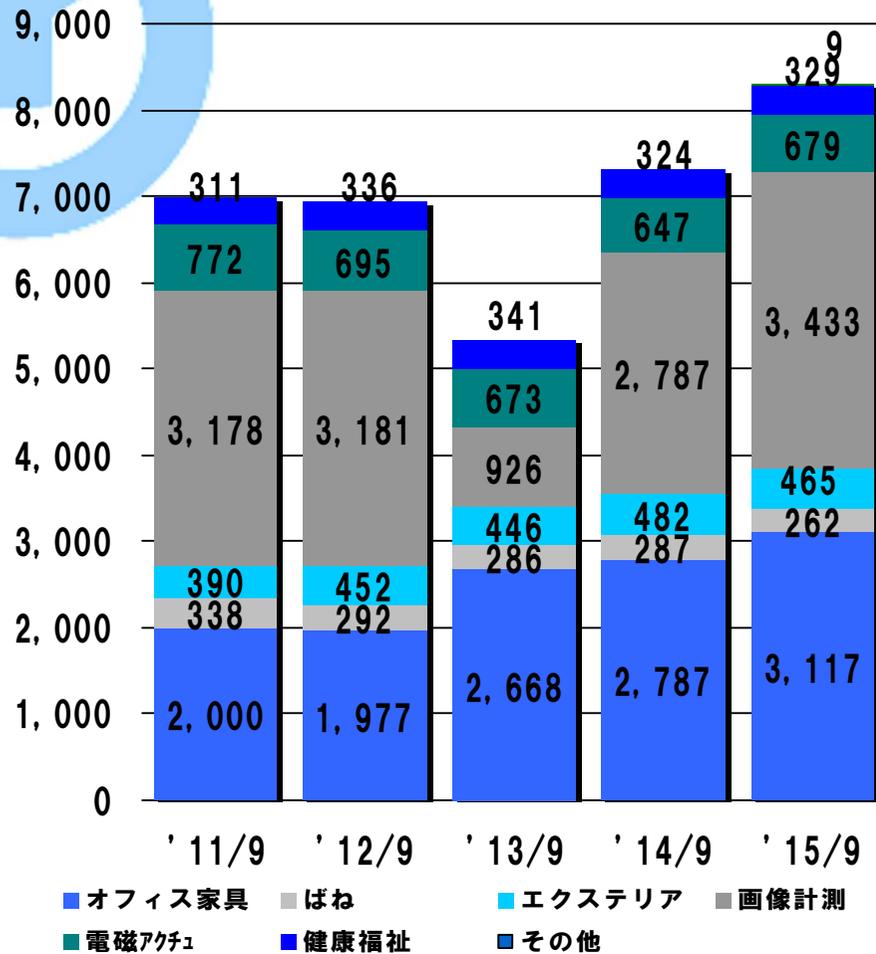


**2016年3月期第2四半期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について**

●事業別第2四半期売上高(単独)の推移

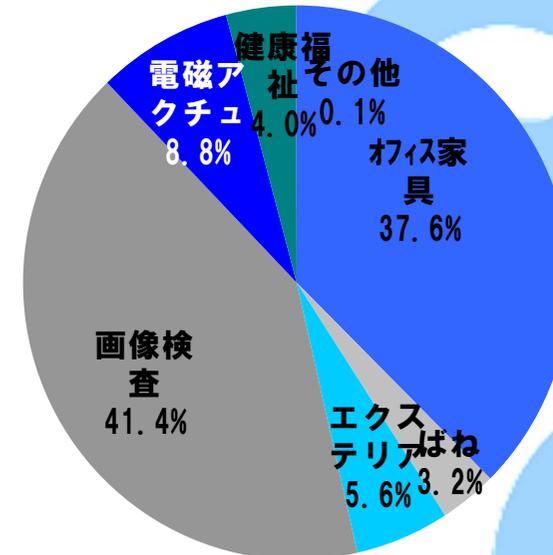
事業別売上高推移

単位：百万円



	2016/3-2Q (百万円)	2015/3-2Q (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	3,117	2,787	111.9%
ばね	262	287	91.3%
エクステリア	465	482	96.5%
画像検査	3,433	2,787	123.2%
電磁アクチュ	679	647	104.8%
健康福祉	329	324	101.6%
その他	9	-	-%

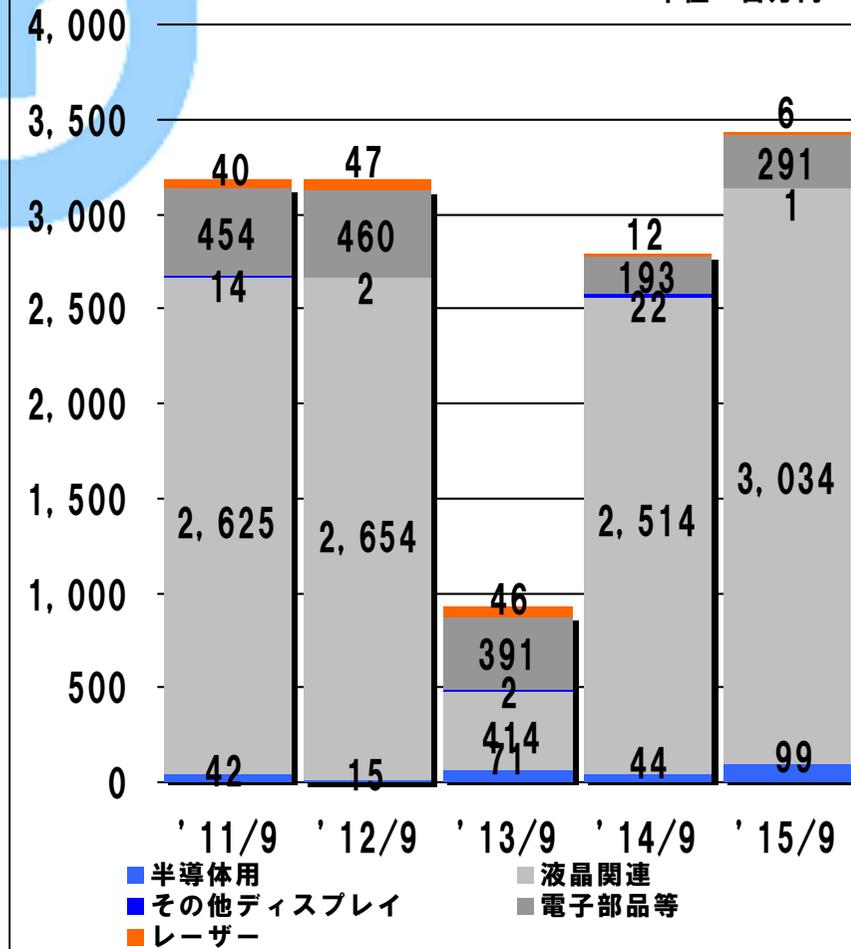
2016/3 第2四半期売上高構成比



●検査計測装置（単独）第2四半期売上高の推移

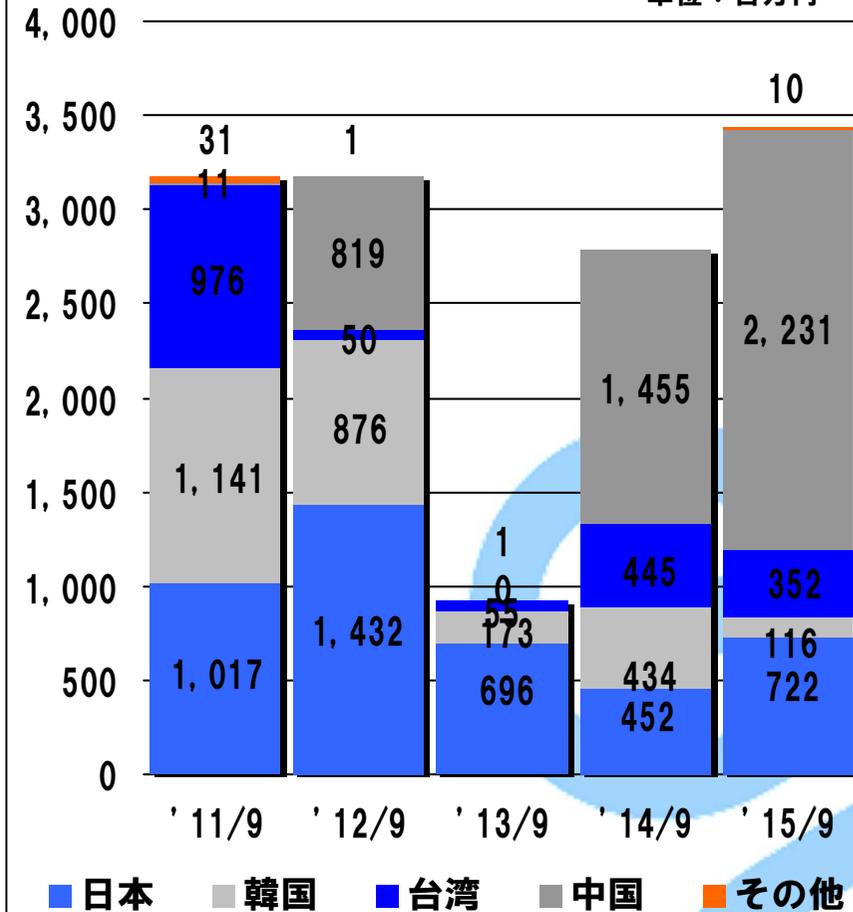
検査計測装置品目別売上推移（単独）

単位：百万円



検査計測装置地域別売上推移（単独）

単位：百万円



2016年3月期決算（連結）の見通しについて

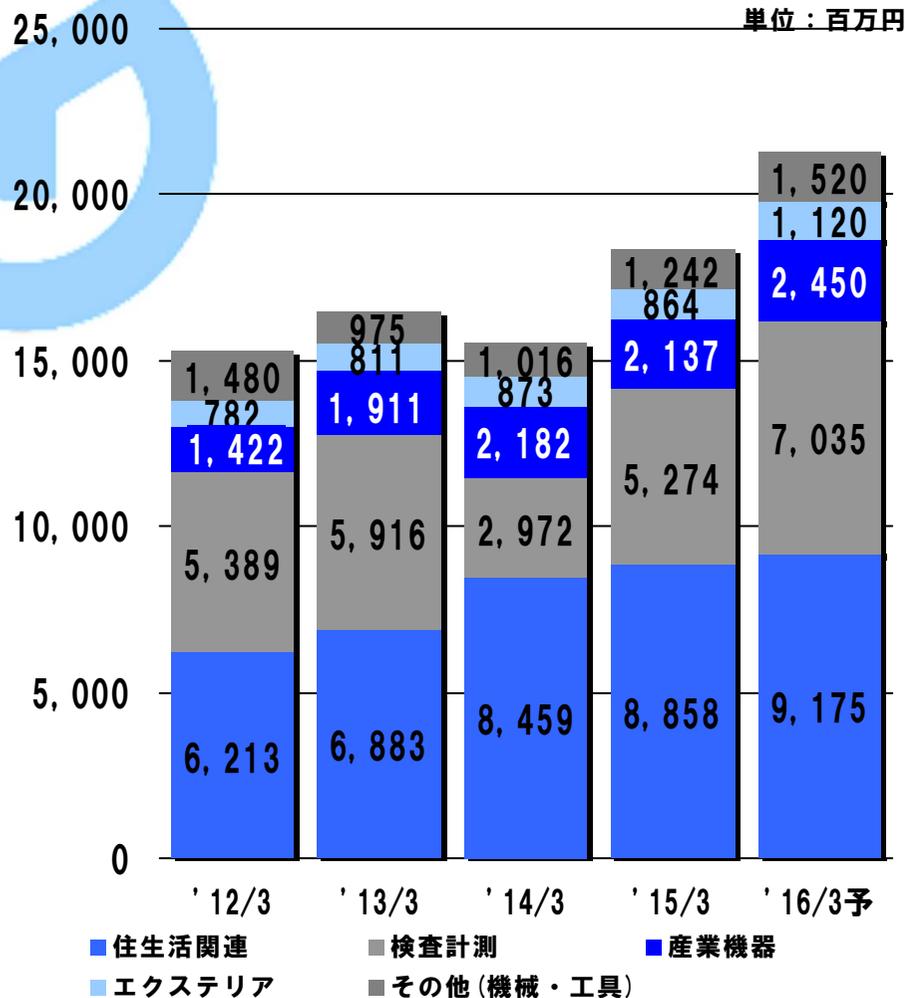
●2016年3月期決算（連結）見通し

	2016年3月予想 (百万円)	前年同期比 (%)	2015年3月実績 (百万円)
売上高	21,300	115.9	18,378
営業利益	970	345.9	280
経常利益	1,100	242.5	453
当期純利益	760	224.2	339

※予想値は、2015年5月8日の決算発表時に開示しました業績予想値を表示しております。

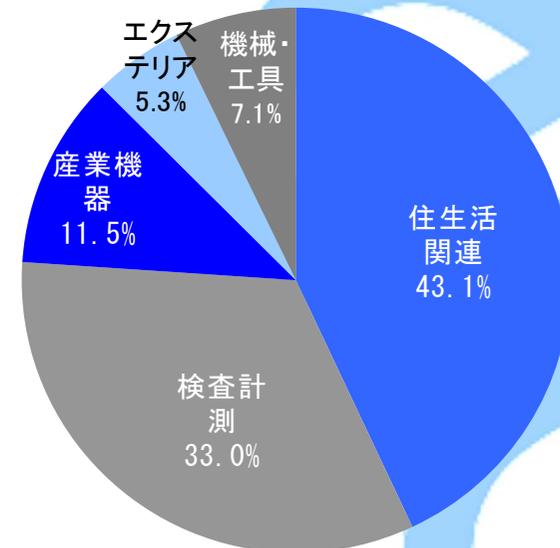
● (ご参考) 連結セグメント別売上高の見通し

セグメント別売上高推移+予想



	2016/3予 (百万円)	2015/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	9,175	8,858	103.6%
検査計測	7,035	5,274	133.4%
産業機器	2,450	2,137	114.6%
エクステリア	1,120	864	129.5%
機械・工具	1,520	1,242	122.3%
合計	21,300	18,378	115.9%

2016/3連結売上高構成比見通し



※2014年3月期から組織移動に伴う管理体制の変更により前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット(ばね)製品の製造販売を「産業機器」に統合させる区分の変更を行っております。これにより、比較可能とさせるため、2013年3月期のセグメント情報につきましては、会社組織変更後の区分に組み替えを行い、表示しております。よって、2012年3月期と、2013年3月期から2016年3月期予想まででは表示上の不連続が生じておりますので、ご注意ください。

※この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものであります。将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。

